

# 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

## 事業名 中部山岳国立公園魅力増進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境生活政策課 中部山岳国立公園活性化 電話番号：058-272-1111(内2926)  
推進係

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 27,879 千円 (前年度予算額： 22,626 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	22,626	5,996	0	0	0	0	8,212	0	8,418
要求額	27,879	5,750	0	0	0	0	15,225	0	6,904
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

中部山岳国立公園南部地域が国立公園満喫プロジェクトに準じる公園となり、環境省を中心に「中部山岳国立公園南部地域利用推進プログラム2020」(H30-R2)を策定。県では「岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画」(H30-R4)を策定し、協議会を設置して取組を開始したが、令和2年度以降、新型コロナによる行動制限やインバウンド消滅等の影響を受け、取組の多くに中断や遅延等が生じるとともに、当地域への入込客数も激減した。

こうした中、アフターコロナを見据えて「南部地域利用推進プログラム2025」(R3-R7)を策定し、新たに“松本高山ビッグブリッジ構想”を掲げ、世界水準のディステーションを目指す両地域・官民一体の取組を開始した。

県においても、ビッグブリッジ構想やコロナからの早期回復、令和6年夏のビジターセンターオープン等を踏まえ、現計画に基づく取組を継続しつつ、令和6年度を始期とする次期計画を策定し、引き続き、関係機関と連携して当地域の活性化に向けた取組を推進する。

## (2) 事業内容

① 岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金 11,500千円

コロナにより中断、遅延した取組みの継続のほか、ビジターセンター令和6夏オープンを見据えた取組みを行うことにより、ビッグブリッジ構想の実現を推進する。

ア 協議会開催費 1,456千円

イ 協議会活動費 8,457千円

ウ 協議会運営費 1,587千円

地域と連携した自然体験プログラムの試行、魅力発信、誘客イベント等の活動を実施

② 環境教育利用の推進 15,225千円

ア 乗鞍岳自然環境学習

県内小学校を対象に乗鞍岳、五色ヶ原の森における自然学習旅行の費用の一部(ガイド費用、バス費用)を負担し、当地域における自然学習の推進を図る。

イ 中部山岳国立公園環境学習動画制作

地域の魅力、飛騨山脈の大地と自然の恵みを学ぶことができる環境学習動画を制作する。

③ 事務費 1,154千円

事業実施に必要な事務費

## (3) 県負担・補助率の考え方

①の事業については、同公園の魅力増進を図るため、県及び高山市が主体的に取り組む必要がある事業であり、両者の負担により事業を実施。

## (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	999	業務旅費
需用費	52	消耗品、公用車燃料費
使用料	103	公用車ETC
業務委託料	15,225	環境学習の実施、環境学習動画制作
負担金	11,500	岐阜県中部山岳国立公園活性化協議会負担金
合計	27,879	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略[3-(1)地域の魅力の創造・伝承・発信]  
[3-(2)次世代を見据えた産業の振興]

岐阜県中部山岳国立公園活性化基本構想(平成29年7月策定)

岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画(平成30年1月策定)

中部山岳国立公園南部地域利用推進プログラム2025(令和3年3月策定)

### (2) 国・他県の状況

国(環境省):国立公園満喫プロジェクト(平成28年度~)

平成28年 国立公園満喫プロジェクトの対象8公園に追加する公園1

平成28年、当公園側隣接の住宅地の一部を公園として  
て当公園南部地域が指定。

**(3) 後年度の財政負担**

県、高山市、地元関係団体の間で役割分担しながら実施する。

**(4) 事業主体及びその妥当性**

事業主体：県、高山市

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

平成29年度に策定した岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画に基づき、活性化の取組を推進する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率

### ○指標を設定することができない場合の理由

天候や社会情勢など様々な要因により入込数変動するため、指標は設定しない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組内容と成果を記載してください。</li> <li>・ビジターセンター検討部会を設置、開催（計6回）</li> <li>・乗鞍岳エコツアーリズム検討部会を設置、開催（計3回）</li> <li>・若者向けPR素材の作成（岐阜美少女図鑑連携）</li> <li>・奥飛騨温泉郷でのフォトラリーイベントを開催</li> <li>・奥飛騨温泉郷施設に多言語案内QRコードを設置（10施設）</li> <li>・五色ヶ原の森で県内小学生に自然環境学習を実施（計207名参加）</li> <li>・ドローンを活用したPR映像の制作（2種）</li> <li>・飛騨高山学会自然環境分科会の開催（11団体発表）</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジターセンター検討部会を設置、開催（計7回）</li> <li>・乗鞍岳エコツアーリズム検討部会を設置、開催（計1回）</li> <li>・若者向けPR素材の作成（岐阜美少女図鑑連携）</li> <li>・奥飛騨温泉郷施設に多言語案内QRコードを設置（8施設）</li> <li>・五色ヶ原の森で県内小学生に自然環境学習を実施（計317名参加）</li> <li>・若年層向けにYouTubeインストリーム広告の配信</li> <li>・飛騨高山学会自然環境分科会の開催（8団体発表）</li> </ul>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p>
<p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>	

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 2	令和4年度までの継続した事業であるとともに、環境省においても国立公園満喫プロジェクトとして同地域の活性化を押し進めており、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 1	中部山岳国立公園及び乗鞍岳の入込数は、新型コロナウイルス感染症及び令和2年7月豪雨災害により大きく減少し、回復に向けた取組みを図る必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</li> </ul>	
(評価) 1	県・市等による協議会の設置により、各関係団体間の課題共有や横の連携が可能となり、事業の効率化が図られている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul>
ウィズコロナ、ポストコロナの時代において、持続可能な地域づくりを進めることが必要。

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul>
地元関係者と連携して、活性化に向けた取組みを継続的に進めることとするとともに、引き続き、活性化事業の今後の在り方について検討する。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】